



## 第1回 学校運営協議会を開催しました

本校は、長年、「コミュニティスクール」として学校運営を行っていますが、その中心となる組織が「学校運営協議会」です。委員の方は、地域や保護者の方です。

18日（水）に委員の皆さんにお集りいただき、本年度の学校づくりビジョンの承認や学校見学をしていただきました。

今後も、「学校の応援団」としてお力を借りたり、学校運営にご意見をいただいたりしながら、学校づくりビジョン実現を目指していきます。

委員の皆さんには、昨年度に引き続き、学習支援として、ミシンなどの裁縫実習の見守りや九九の暗唱聴き取りのお手伝いをお願いしました。その他、学校整備作業（草刈り）や運動会のテント運搬設営などのご協力もお願いしています。委員さんご本人だけでなく、こちらを窓口としたネットワークで、地域の各団体を中心とした皆さんにも、お力添えをいただいています。

この日の意見交流の中で、委員さんから、

- ・廊下から参観していた時、こちらを見た子がちゃんと会釈をしてくれた。
  - ・クラブの先生だよねと声をかけてもらったことがあり、うれしかった。
- と、おっしゃっていただきました。

授業で、クラブで、学習資料室で、登下校の見守りで、ふれあいパスポートのシールをもらうときに・・・など、いろいろな場面でお世話になっています。児童の皆さんも、あいさつや会話などで、あたたかいつながりをつくっていきましょう。

# タブレット端末の持ち帰りについて

現在、2～6年生は、タブレット端末を毎日持ち帰っています。タブレット端末は、教科書・ノート・鉛筆などと同じ「文房具」という考えです。そのため、登校したら、スイッチを入れて朝の学習の用意をしたり、机の横にバッグごとかけて、どの授業でもすぐに取り出せるようにしたりしています。

ただ、毎日持ち歩くのは、少しいへんかもしれません。タブレット端末をランドセルに入れてもよいのですが、今の教科書のサイズは大きく、厚みもあるので、ランドセルが少し重くなるのも事実です。

しかし、急な学級（学年）閉鎖や新型コロナウイルス関連によりやむを得ず登校できないときなどに、インターネットを使って、学校とつながり学習をしたり「ドリルパーク」を使った自主学習などをしたりできます。また、インターネットを使わなくても、文字・絵・写真などを記録・保存したり、再度呼び出して確認したりする学習ができます。

タブレット端末の持ち帰りについて、ご理解いただき、ご協力をお願いします。

また、ランドセルで背負う荷物の重さを考え、これまで同様、国語や算数以外の、週に数回の授業の教科書や資料集などは学校に置いていくことになっています。（テスト勉強をしたいときなどは、持ち帰ります。）

急なときだけでなく、普段から、学年に応じて、家庭学習でもタブレット端末を使うようにしています。ただし、全員にインターネット環境がないことをふまえ、現在は、インターネットを使用する学習は必修課題ではなく、インターネットを使用せずにできる学習が「宿題」です。

高学年では、その日に行った授業の振り返りを入力したり、Google Classroomを使って、家で明日の予定や先生からの連絡を確認したりします。キーボードからの文字入力も大事なので、日記や短作文を書いたり、教科書の文章を書き写したりすることもあります。

低学年では、キーボードによる文字入力は難しいですが、指定されたものの写真を撮って保存したり、時にはタッチペンで文字を書き込んだり、五十音表で文字を入力したりします。音読練習をビデオに撮って見直すこともできます。いろいろな操作を児童が家で一人できるように、学校で指導しているところです。

時には、学校での様子、例えば図エや書写の作品の写真を撮って、家の人に見ていただくなど、子どもたちのお知らせボードとしても使っていきます。

充電をし忘れてしまったり、充電していて、そのまま家にタブレット端末を置いてきてしまったりすることがあります。お家でも、お声がけいただくようお願いいたします。